

世界に羽ばたく青山博一、高橋裕紀。

RAPIDE-SR AOYAMA <発売> RAPIDE-SR YUKI

2005年MOTO-GP250ccクラスに2人の日本人ライダーが挑戦しています。1人は2年目の青山博一（1981年生れ）Team Telefonica Movistar Honda所属、2003年全日本GP250チャンピオン。もう1人が今年から参戦する高橋裕紀（1984年生れ）Team Scot所属、2004年全日本GP250チャンピオンです。2人は、青山5才、高橋7才といった子供の頃からミニバイクレースに参戦し、中学時代には同じレースチーム桶川塾に所属。互いに競い合っていました。全日本GP250ccクラスでは、青山博一はHARC PRO、高橋裕紀はDyDo MIU Racing Teamと名門チームに移籍し、チャンピオン争いを繰り広げ、共に日本の頂点に登りつめました。いよいよ世界に舞台を移し、世界中のライダーを相手に、世界一を目指した2人のライバルストーリーは継続していきます。ARAIでは、未来ある2人を応援する意味も込め、2人が今シーズン使用するラバイドSRをベースとしたレプリカヘルメットRAPIDE-SR AOYAMAとRAPIDE-SR YUKIを発売します。



脱った時のフィーリングはRX7と同等の快適さがあり、ブラスト部のフィット感が増したことにより安心感と一体感が感じられます。走行中は口元の巻き込み風が減り、鼻からのエアの抜けが倍段に良くなり快適さをキープしてくれます。ストレートエンドなどのハイスピードでのヘルメットの振れも軽減されて首への負担はもちろん、道への抵抗が少なくなった分カラダ全体の自由度が広がった感じを受けました。



青山 博一

今年から、新型RAPIDE-SRになりました。まず、このヘルメットは見た目からして違いますね。口の部分にあるエアークラックは最初から6ヶ所穴が開いているタイプです。開け閉めをする操作レバーが、内側（口の真ん前寄り）になっているため、走行中誤って閉まることなく、とても助かっています。後ろの部分も見てもらいますと分かる通り、空気を抜くためのダクトがあり、ヘルメット全体の空気が良くなりました。ですので、当然スピードが上がったときの首に掛かる空力が少なくなり、より走行に集中出来るようになりました。このように、多くの部分が変更された新型RAPIDE-SR。僕としてもお勧めのヘルメットです！ぜひともお試しください。高橋 裕紀



- モデル名:ラバイドSR-AOYAMA
- 規格:SNELL, JIS
- 帽体:PBcLc構造
- サイズ:(53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格:¥50,000(税込 ¥52,500)



- モデル名:ラバイドSR-YUKI
- 規格:SNELL, JIS
- 帽体:PBcLc構造
- サイズ:(53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格:¥50,000(税込 ¥52,500)